2025年6月11日

診療科長 医局長 病棟医長 外来医長 中央診療施設副部長 原 看護部長 看護師長 事務部長

殿

検査部 外注検査作業室

## 検査部回報 2025-No.22

# 【変更】

# 外注検査委託業者変更のお知らせ

先日ご案内いたしました検査部回報 2025-No.21に、内容の変更がありますのでご連絡いたします。下記の項目につきましては、従来通りLSIメディエンス社に委託することとなりました。ご迷惑をお掛けしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

記

## く 検査項目 >

- 先天性疾患染色体検査(分染法)
- 総胆汁酸
- ・バニリルマンデル酸(VMA)

## く変更日>

## 2025年6月6日(金)より

上記についてのお問い合わせは、外注検査作業室(内線7254)でお願い致します。

### 1. 委託先変更により検査内容に変更がある項目

#### 【LSI→SRL変更項目】

<b>检查</b> 基本	LSI				SRL				本事中的		
検査項目	検査方法	基準範囲 (-:設定なし)	単位	材料	容器	検査方法	基準範囲	単位	材料	容器	変更内容
ハロペリドール	EIA(CEDIA法)	3~17	ng/mL	血清	茶プレーン	金コロイド凝集法	3~17	ng/mL	血清	茶プレーン	検査方法
炭酸リチウム	原子吸光分析法	0.3~1.2	mEq/L	血清	茶プレーン	比色法	0.3~1.2	mEq/L	血清	茶プレーン	検査方法
L-FABP	ラテックス凝集比濁法	8.4 以下	μg/g•Cr	尿	スピッツ	CLEIA	8.4 以下	μg/g•Cr	尿	スピッツ	検査方法
TSHレセプター抗体(第3世代)	ECLIA法	2.0 未満	IU/L	血清	青分離剤	CLEIA	2.0 未満	IU/L	血清	青分離剤	検査方法
lgGインデックス	TIA/ネフェロメトリー法	Index 0.73 以下		血清·髓液	青分離剤/スピッツ	免疫比濁法(IgG) BCP改良法(血清 アルブミン) 免疫比濁法(髄液 アルブミン)	-		血清・髄液	青分離剤/スピッツ	検査方法
フォン・ウィルブランド因子定量(第個因子様抗原)	ラテックス凝集比濁法	血液型O型 42.0~140.8 血液型A,B,AB型 66.1~176.3	%	血漿	黒凝固	ラテックス凝集反応	50~155	%	血漿	黒凝固	基準範囲
第ⅩⅢ因子定量	ラテックス凝集比濁法	70 以上	%	血漿	黒凝固	ラテックス凝集比濁法	70~140	%	血漿	黒凝固	基準範囲
FGF-23	CLEIA	30 未満	pg/mL	血清	青分離剤	CLEIA	19.9~52.9	pg/mL	血清	青分離剤	基準範囲
CA72-4	ECLIA	8.0 以下	U/mL	血清	青分離剤	ECLIA	10.0 以下	U/mL	血清	青分離剤	基準範囲
α1-マイクログロプリン	ラテックス凝集比濁法	9.1~18.4	mg/L	血清	青分離剤	ラテックス凝集比濁法	M 12.5~25.5 F 11.0~19.0	mg/L	血清	青分離剤	基準範囲
α1-マイクログロプリン	ラテックス凝集比濁法	8.3 以下	mg/L	尿	スピッツ	ラテックス凝集比濁法	M 1.0~15.5 F 0.5~9.5	mg/L	尿	スピッツ	基準範囲
1,25-ジヒドロキシビタミンD3	RIA2抗体法	20.0~60.0	pg/mL	血清	青分離剤	RIA2抗体法	成人 20.0~60.0 小児 20.0~70.0	pg/mL	血清	青分離剤	基準範囲
遊離コレステロール	酵素法	34~66	mg/dL	血清	青分離剤	酵素法	30~60	mg/dL	血清	青分離剤	基準範囲
プロテインC抗原量	LPIA	62~131	%	血漿	黒凝固	LPIA	70~150	%	血漿	黒凝固	基準範囲
サイクリックAMP (cAMP)	RIA(PCC法)	6.4~20.8	pmol/mL	血漿	EDTA-2Na	RIA DCC法	11~21	pmol/mL	血漿	EDTA-2Na	基準範囲
第Ⅱ因子凝固活性	PT	74~146	%	血漿	黒凝固	凝固時間法	75~135	%	血漿	黒凝固	基準範囲
第V因子凝固活性	PT	70~152	%	血漿	黒凝固	凝固時間法	70~135	%	血漿	黒凝固	基準範囲
第Ⅲ因子凝固活性	PT	63~143	%	血漿	黒凝固	凝固時間法	75~140	%	血漿	黒凝固	基準範囲
第XI因子凝固活性	APTT	73~136	%	血漿	黒凝固	凝固時間法	75~145	%	血漿	黒凝固	基準範囲
第ⅩⅡ因子凝固活性	APTT	46~156	%	血漿	黒凝固	凝固時間法	50~150	%	血漿	黒凝固	基準範囲
第X因子凝固活性	PT	71~128	%	血漿	黒凝固	凝固時間法	70~130	%	血漿	黒凝固	基準範囲
第位因子インヒビター	ベセスダ	検出せず		血漿	黒凝固	ベセスダ	検出せず		血漿	PC5	容器
凝固抑制因子検査第区因子	ベセスダ	検出せず		血漿	黒凝固	ベセスダ	検出せず		血漿	PC5	容器
TRB(T細胞受容体 ß 鎖)遺伝子再構成《PCR法》	PCR法			EDTA加血液 骨髄液 組織	LSI-22	PCR法			EDTA加血液 骨髄液 組織	EDTA-2Na SRL-H00	容器
レジオネラ核酸同定	LAMP	検出せず		喀痰	LSI-55	LAMP	検出せず		喀痰	滅菌スピッツ	容器
コプロポルフィリン定量(尿)	HPLC	170 以下	μg/g•Cr	尿 (または糞便)	LSI-66	HPLC	170 以下	μg/g•Cr	尿のみ	U00(遮光スピッツ)	容器
ペランパネル	LC-MS/MS	-		血漿(または血清)	EDTA-2Na	LC-MS/MS	-		血漿のみ	緑ヘパリン	容器
ラコサミド	LC-MS/MS	-		血漿(または血清)	EDTA-2Na	LC-MS/MS	-		血漿のみ	緑ヘパリン	容器
子宮頸管粘液中顆粒球エラスターゼ	ラテックス凝集比濁法	1.60 以下	μg/mL	子宮頸管粘液	LSI-71	ラテックス凝集免疫法	1.60 以下	μg/mL	子宮頸管粘液	SRL-VP6	容器
HIV-1 RNA定量(TaqManPCR法)	リアルタイムPCR法	検出せず	コピー/mL	血漿	LSI-80	リアルタイムPCR法	検出せず	コピー/mL	血漿	SRL-PSF	容器
マイクロアレイ染色体検査(CGH法)	アレイCGH法	-		EDTA加血液	LSI-13	アレイCGH法	-		EDTA加血液	EDTA-2Na	容器

免疫関連遺伝子再構成(TCR C $\beta$ 1,TCR J $\gamma$ )	Southern blot法	再構成を認めない		血液、骨髄液 細胞、組織	緑ヘパリン	サザンハイブリダイゼーション	-		血液、骨髄液 細胞、組織	EDTA-2Na SRL-H00	容器
マイコプラズマ核酸同定	Qprobe	検出せず		喀痰	LSI-55	LAMP	-		喀痰	SRL-ARR	検査方法、容器
ラモトリギン	LC-MS/MS法	-	μg/mL	血清	茶プレーン	LC-MS/MS法	-	μg/mL	血漿のみ	緑ヘパリン	容器、材料
レベチラセタム	LC-MS	-	μg/ mL	血清	茶プレーン	LC-MS	-	μg/ mL	血漿のみ	緑ヘパリン	容器、材料
トピラマート	LC-MS/MS法	-	μg/ mL	血清	茶プレーン	LC-MS/MS法	-	μg/ mL	血漿のみ	緑ヘパリン	容器、材料
タウ蛋白(髄液)	EIA	-		髄液	滅菌スピッツ	CLEIA	171~611	pg/mL	髄液	SRL-XR5	検査方法、基準範囲、容器
リン酸化タウ	EIA	50.0 未満	pg/mL	髄液	滅菌スピッツ	CLEIA	21.5~59.0	pg/mL	髄液	SRL-XR5	検査方法、基準範囲、容器

#### 【LSI→BML委託先変更項目】

			LSI			BML					
<b>検査項目</b>	検査方法	基準範囲 (-:設定なし)	単位	材料	容器	検査方法	基準範囲	単位	材料	容器	変更内容
クリオグロブリン	ゲル内拡散法	1		血清	青分離剤	寒冷沈殿法	-		血清	青分離剤	検査方法
抗リン脂質抗体検査パネル	CLIA	20.0 以下	U/mL	血清	青分離剤	CLIA	20.0 以下	U/mL	血漿	黒凝固	材料
塩基性フェトプロテイン(BFP)	EIA	75 未満	ng/mL	血清	青分離剤	EIA	75 未満	ng/mL	血清	茶プレーン	容器
虫卵検査	浮遊法	(-)		糞便	LSI-29	集卵法	(-)		糞便	F-1	検査方法、容器
頸管膣分泌液中癌胎児性フィブロネクチン	ELISA	(-)		頸管膣分泌液	LSI-90	EIA法	(-)		頸管膣分泌液	FN2	検査方法、容器
フォン・ウィルプランド因子活性	ラテックス凝集比濁法	血液型O型 48.2~201.9 血液型A,B,AB型 60.8~239.8	%	血漿	黒凝固	固定血小板凝集法	50~150	%	血漿	黒凝固	検査方法、基準範囲
セレン	ICP-MS	10.0~16.0	μg/dL	血清	LSI-68	原子吸光分光光度法	107~171	μg/L	血清	青分離剤	検査方法、基準範囲、容器

## 2. 委託先変更により検査内容に変更がない項目

#### 【LSI→SRL変更項目】

サイロキシン結合グロブリン (TBG)	百日咳菌抗体	テオフィリン	尿中トランスフェリン	アポリポ蛋白A- I
オリゴクローナルバンド	ジソピラミド	抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体	血漿レニン活性	アポリポ蛋白A-II
抗カルジオリピン抗体(IgG)	シベンゾリンコハク酸	鳥特異的IgG	遊離テストステロン	アポリポ蛋白B
トロンボモジュリン	塩酸ピルシカイニド	抗Scl-70抗体	パルボウイルスB19 lgM	アポリポ蛋白C-Ⅱ
アクアポリン4抗体	フレカイニド	ループスアンチコアグラント(リン脂質中和法)	TTR遺伝子変異解析	アポリポ蛋白C-Ⅲ
ADAMTS13インヒピター定量	ADAMTS13活性	SPan-1抗原精密	RAS • BRAF遺伝子変異解析	アポリポ蛋白E

#### 【LSI→BML変更項目】

HIV-ジェノタイプ薬剤耐性検査	ALK融合遺伝子	尿蛋白分画	ロイシンリッチα2グリコプロテイン	肝細胞增殖因子(HGF)
25-ヒドロキシビタミンD	レニン濃度(ARC)	抗GAD抗体(抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体)		

### 3. LSI委託継続となる項目

ダブラフェニブBRAF遺伝子変異解析	先天性疾患染色体検査(FISH法)	アキュジーンm-HBV	尿中総ヨウ素	GenMineTOP がんゲノムプロファイリングシステム
赤血球プロトポルフィリン	HIV-1 • 2確認検査	ウロポルフィリン	コプロポルフィリン定量(血液)	核酸抽出費※GenMineTop判定不可時
ホモバニリン酸(HVA)(尿)	先天性疾患染色体検査(分染法)	バニリルマンデル酸	総胆汁酸	